

2022 年度入学試験問題

学校推薦型選抜・特別選抜(社会人・帰国子女)・第3年次編入学

小 論 文

注 意

1. 指示があるまで、手を触れないこと。
2. 指示に従って、解答用紙に受験番号（算用数字）および氏名をはっきりと記入すること。
3. 解答は、すべて解答用紙の指定された箇所に、横書きで記入すること。
4. 問題冊子は1冊（9ページ）である。問題冊子に落丁、乱丁などがあれば、直ちに申し出ること。
5. 解答用紙は問題1、問題2の2枚である。地域推薦Aには問題1の解答用紙を、それ以外には両方の解答用紙を問題冊子に挟み込んで配付している。解答用紙の過不足、汚れなどがあれば、直ちに申し出ること。
6. 地域推薦Aは問題1を解答すること。それ以外は問題1、問題2の両方を解答すること。
7. 問題冊子は持ち帰ること。

問題 1 (100 点)

次の文章を読んで，設問に答えなさい。

引用：『AI の時代と法』小塚荘一郎著（岩波書店、2019 年、pp.151～156）

<原文の二次利用の許諾を得ていないため非掲載>

引用：『AIの時代と法』小塚荘一郎著（岩波書店、2019年、pp.151～156）

<原文の二次利用の許諾を得ていないため非掲載>

引用：『AIの時代と法』小塚荘一郎著（岩波書店、2019年、pp.151～156）

<原文の二次利用の許諾を得ていないため非掲載>

【出典】小塚荘一郎『AIの時代と法』（岩波書店、2019年、pp.151～156）

注1 AI：人工知能（Artificial Intelligence）の略称。定義は様々だが、大まかには、知的な機械、特に、知的なコンピュータプログラムを作る科学と技術とされている。

注2 機械学習：データから規則性や判断基準を学習し、それに基づき未知のものを予測、判断する技術。

注3 エントリーシート：ここでは就職希望の意思や必要事項等を記載し、就職希望の会社に提出する書類のこと。注4 アーキテクチャ：技術上の設計や設計思想、その設計思想に基づいて作られたシステムの構造のこと。

※ 出題にあたり、原文の縦書きを横書きに改めた。また小見出しを削除し、原文の一部を中略、削除した。

設問1 AIによるバイアスのかかった差別的判断はどのように生じるのか。本文で紹介されたAIの機械学習の仕組みも踏まえて、200字以内で説明しなさい。

設問2 AIによる差別がなるべく生じないようにするためにはいかなる仕組みを設計すべきか。AIによる差別が起こりうる場面を1つ挙げ、差別を回避するための筆者の提案も記述した上で、それ以外の具体的な案（複数可）を、500字以内で述べなさい。

問題 2 (100 点)

次ページ以降の資料をもとに、以下の設問に答えなさい。

設問 1 図 1 から、年代別にみた投票率の傾向を 200 字以内でまとめなさい。

設問 2 図 2(a)から(e)は、満 13 歳から満 29 歳までの男女に対して、2018 年に 7 か国で実施された、政策決定過程への関与に関するアンケートの集計結果です。これらを参考にして、日本の若者の投票率が低い理由を推測し、投票率を上げるにはどうすれば良いのかを 600 字以内で述べなさい。

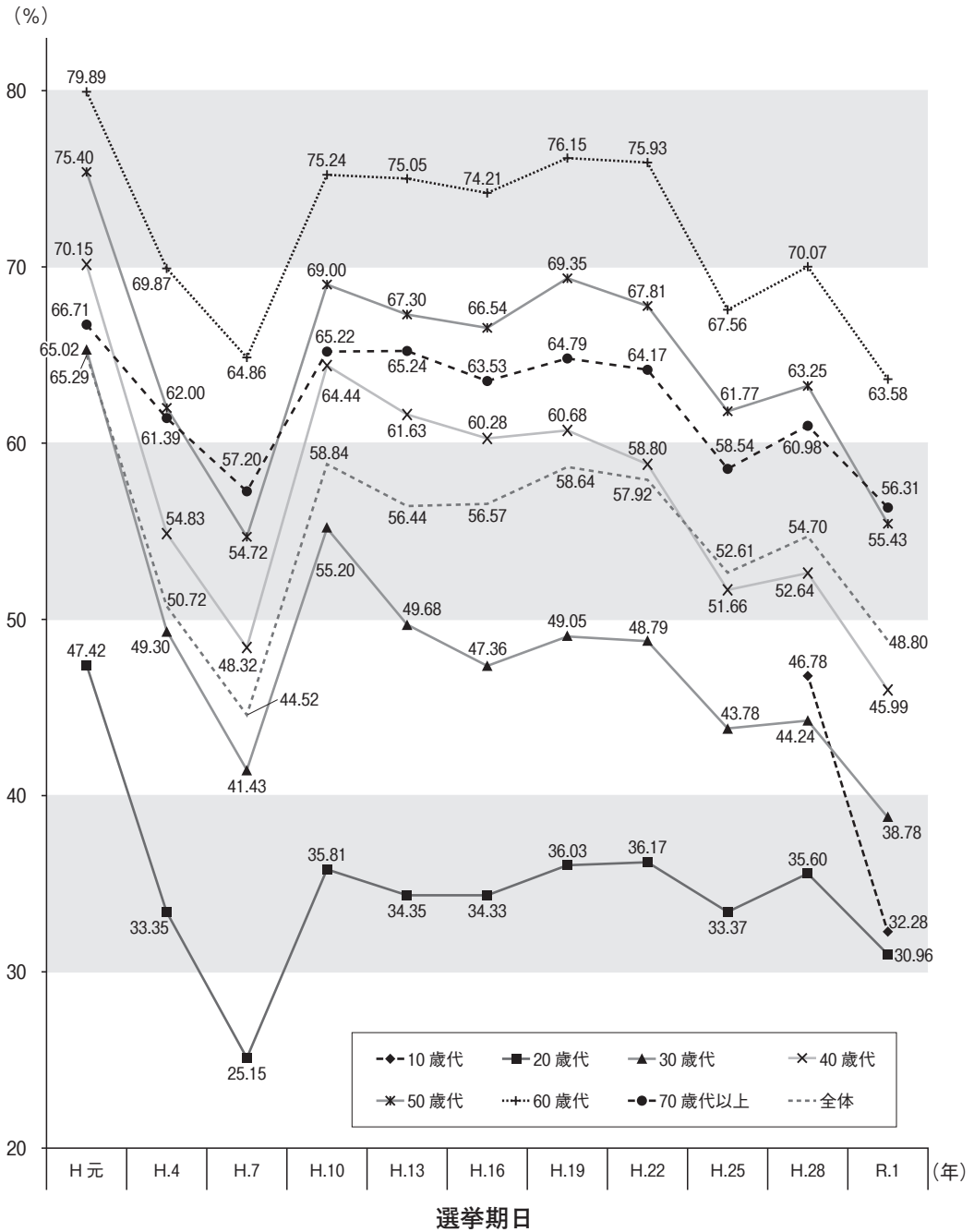
【出典】総務省，2019 年，「国政選挙の年代別投票率の推移について」

(https://www.soumu.go.jp/main_content/000646811.pdf)

内閣府政策統括官（共生社会政策担当），2019 年，『我が国と諸外国の若者の意識に関する調査（平成 30 年度）』

※ 出題にあたり、元の図の一部を省略・加工しています。

図1 参議院議員通常選挙における年代別投票率（抽出）の推移



※ この図のうち、年代別の投票率は、全国の投票区から、回ごとに142～188投票区を抽出し調査したものです。
 ※ 10歳代の投票率は、H.28は全数調査による数値です。

図2 (a) 社会をよりよくするため、私は社会における問題の解決に関与したい

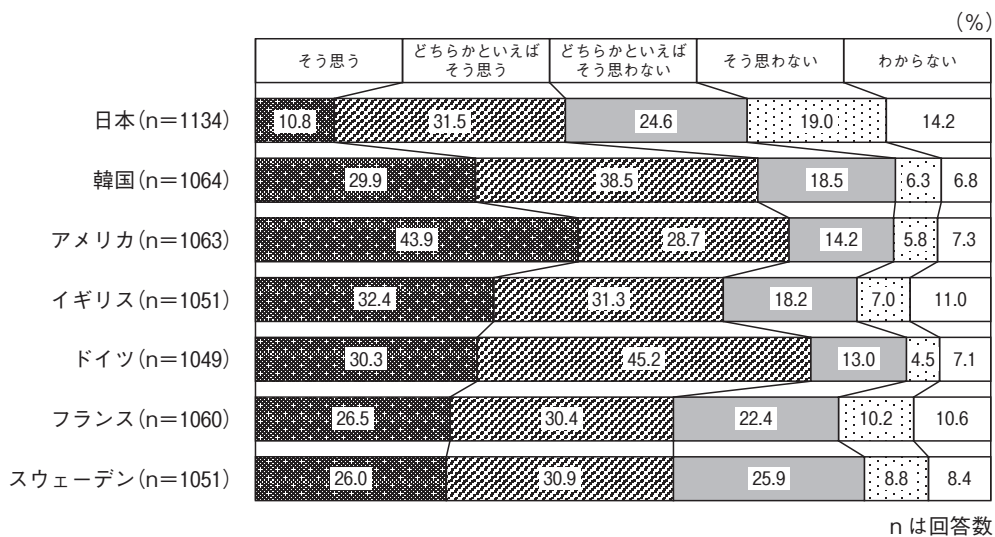


図2 (b) 将来の国や地域の担い手として積極的に政策決定に参加したい

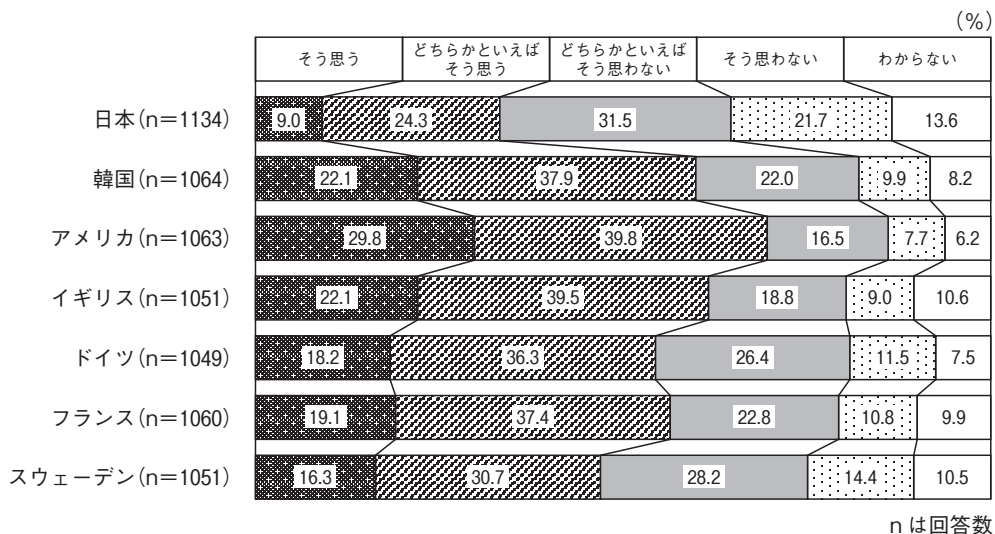


図2 (c) 政策や制度については専門家の間で議論して決定するのが良い

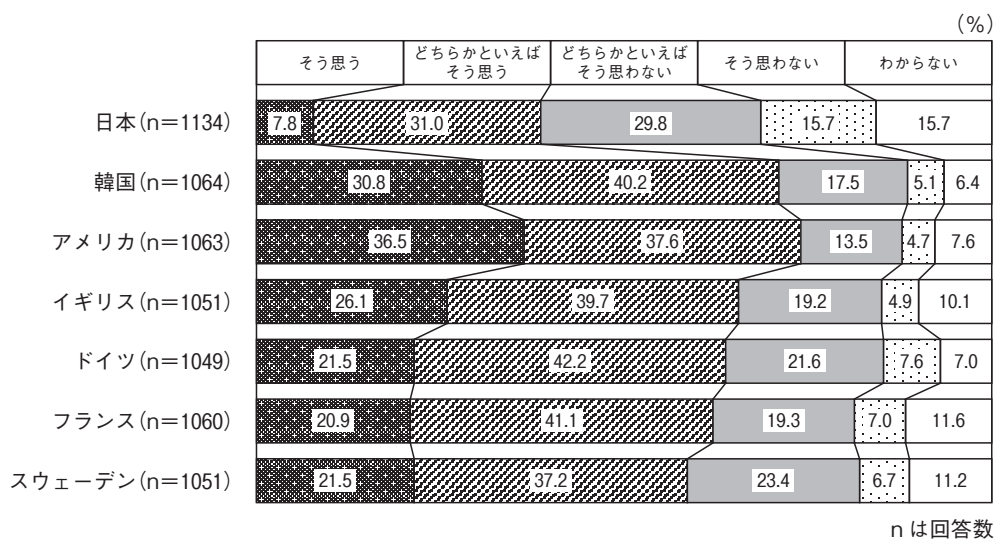


図2 (d) 私の参加により、変えてほしい社会現象が少し変えられるかもしれない

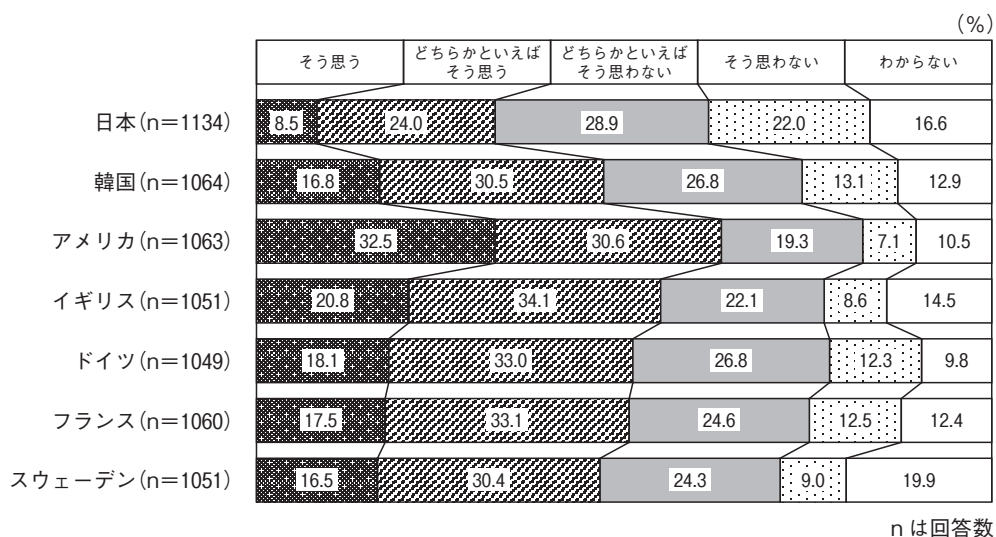


図2 (e) 私個人の力では政府の決定に影響を与えられない

